

第7回 安全・安心推進会議 会議要旨

- 1 日 時 令和元年10月8日（火） 14：00～16：00
- 2 場 所 北九州市役所庁舎 3階 大集会室
- 3 出席委員数 28名
- 4 議題 北九州市安全・安心条例 第2次行動計画（素案）について

5 主な意見

【方向性Ⅰ 安全・安心に関する市民意識の高いまちづくりの推進】

安全・安心に関する意識の高揚

＜地域安全マップの今後の活用について＞

委員

これまでを振り返ってみると、大学生と行政が中心に進めている現在の地域安全マップづくりだが、学校の先生方の中の認識の広がりというのがもう一つだったのではないか。

各学校の安全管理者に対する研修の中に、この地域安全マップと関連した、例えば、子どもの安全を守る防犯研修といったものを含めていくことによって、より学校全体の先生方の意識も変わっていくのではないか。

委員

今年度から5年間の新しい教育プランを策定した。その中の5つのミッションの1つである「安全な学びの場づくり」は安全・安心を前面に出している。今のご意見を、制度化をするという意味で組み込んでいきたいと考えている。

自転車盗・万引き行為防止対策の推進

＜自転車盗・万引き行為防止対策について＞

委員

自転車盗は盗る方が悪いのだが、それを可能にしている店側の環境も問題である。万引きも同様に、店側は被害者ではあるが、万引きを許している店側の環境（意識）にも問題がある。その点を踏まえ、啓発活動を超えた対策を講じていくことが大事。

議長

今度の目標の4,500件を達成するためには、その点を分析しながら進めていくことが必要。

【方向性Ⅱ 安全・安心な環境の構築】

青少年の非行等を生まない環境の構築

<客引き対策について>

委員

体感治安については、客引き対策が有効であると考えている。市では客引き規制について条例化を検討していると聞いているが、客引き対策により劇的に市民の安心度は高まるもの。

事務局

北九州市では商店街の皆様と「小倉北繁華街客引き適正化協議会」を結成し、定期的なパトロールを行うなど、客引きの適正化を図る取組を進めている。

しかしながら、悪質な客引きに関しては、なかなか減らないという状況もあり、最近では市に条例を求める動きも確かにある。市としても、条例に向けた検討をしているところだが、現在、福岡市とも勉強会を始めており、県条例の中に入れるというところに関しても、今後検討していく。

安全・安心に配慮した環境の構築

<防犯カメラの普及促進について>

委員

防犯カメラについて、北九州市も民間を活用してはどうか。例えば、東京の足立区などは民間の自動販売機に防犯カメラを設置するなど、民間の設置を推進している。

議長

防犯カメラの実態や取組について、少し具体的に事務局から説明してもらえないか。

事務局

市が小倉や黒崎の繁華街など主要幹線道路に付けている設置防犯カメラは 194 台。もう一つの、地域団体や事業者が公共空間を撮影する防犯カメラの設置補助を行う、補助事業について、平成 30 年度までで 78 団体、239 台設置している。

委員

防犯カメラの設置も大事だが、防犯カメラを目隠ししている植栽やブロック塀などがあるため、カメラの視線を遮らないハード面の対策も並行して行うことが大事。その点を明確に意識してもらえると良いのではないか。

委員

植栽を低くしたり、周りから見えやすく工夫した、安全安心に配慮した公園づくりをモデル的に進めているが、防犯カメラとの関係については、横の連携をとりながら齟齬がないようやっていきたいと考えている。

【方向性Ⅳ 安全・安心な都市イメージの発信】

都市のイメージアップに資する情報の発信

＜市民の口コミによる安全・安心のPRについて＞

委員

安全・安心のPRについて、北九州市にゆかりのある市外在住者の口コミによる広がりを利用してはどうか。

議長

この行動計画の説明においても「イメージの改善」は継続的に進めていかなければいけないとされている。また、体感治安の数字を見ても、かなり良くなってきており、引き続きイメージ改善の取組を進めていく。

＜成人式について＞

委員

移住定住セミナーに出席すると、治安への質問が多いように感じる（特に成人式）。

北九州市の成人式は驚くほどフォーカスされている。分かりやすいマイナスのイメージとして拡散している。北九州市の成人式を1日ずらすなどの対策をしてはどうか。

委員

新成人によるお掃除大作戦や公園内の酒類の持込禁止、今回初めて新成人委員による記者会見による広報活動を行うなど、マイナスイメージの払拭に努めている。開催日については、定期的にアンケートをとっているが、3連休の中日の希望がダントツで多い。今回委員からご指摘をいただいたため、ご指摘も含め、成人式がより良いものになるよう、どのようなやり方がいいのか、実行委員会の中で引き続き検討してまいりたい。

委員

現在の成人式の報道は、「荒れてるように見えて荒れていない」とか「派手だが真面目である」といった意外性がニュースになっており、どちらかと言えば、ほのぼののニュースとして取り上げられていることで、北九州市のイメージを良くしているポジティブな報道ではないか。

特に配慮すべき対象への主な安全対策

＜子どもの安全対策について＞

委員

熊本市では黄色いベストを着用している。海外の小学校でも蛍光色のベストを着用している。私は現在、子どもたちに黄色いベスト、緑色のベストを着用して外出してもらう運動を展開しているので、行政単位として初めて導入していただけると嬉しく思う。

委員

戸畑区の小学校でモデル的にやっているが、学校関係者からは様々な意見が寄せられている。そのため、それらの意見も聞いて勉強させていただく。

委員

子どもの見守りのため、通学路の防犯カメラの設置促進として今年度に限り、国の補助金があるため活用してはどうか。

福岡市では、民間企業とタイアップして、市の予算を使わずに市内の小学生全員にIOTを活用した見守りビーコンを持たせる取組をしている。

話は変わるが、高齢者の犯罪予防として、二セ電話詐欺があるが、いわゆるアポ電がかかっているが、県警への通報として月300件ほど。昼間の固定電話を入口とするオレオレ詐欺被害の約9割が高齢者となっている。県警としては unnecessaryな電話に出ないよう、県警としては着信拒否機能や録音機能が付いた「まっ太フォン」の普及に努めているため、行政側のご理解とご協力をいただきたい。

議長

防犯機器は、毎年毎年レベルアップしており、他都市の状況含め、効果的な施策については、必要であれば、今後も進めていく。

<女性の安全対策について>

委員

新入学生や新社会人に向けた防犯セミナーなどを実施し、防犯意識を高める取組をしてはどうか。

事務局

ー昨年に、大学生と一緒に女性の防犯や、全体的な防犯に関するパンフレットを手作りで、大学生の意見を取り入れながら作り、それを特に、市外から北九州に来られた新入生に向けて配るという事業を実施した。

委員

性犯罪の被害者は、女子学生よりも社会人の若年女性の方が多い。また独居よりも親との同居の被害が多い。一人暮らしの女性が必ずしも被害に遭っているわけではなく、固定観念を捨てた啓発が大事。また、男子学生にも、デートDVなどの加害者にならないための啓発が必要。